

サクラマス幼魚回遊生態調査

静一徳・相坂幸二

目的

サクラマスの放流条件及び増殖方法検討のため、降海後のサクラマス幼魚の沿岸域での回遊生態を把握する。

材料と方法

2014年の2月～6月に、県内4地区（尻労、関根浜、牛滝、黒崎：図1）で定置網により混獲されたサクラマス幼魚を、漁業者の協力により日付別に採集した。採集された幼魚は10%ホルマリンで固定した。内水面研究所へ搬送後、尾叉長、体重を測定し、標識（鰭カット、リボンタグ等）を確認した。

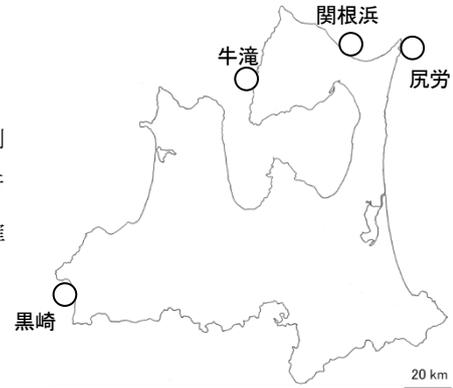


図1. サクラマス幼魚回遊生態調査地点

結果と考察

サクラマス幼魚の採捕数は、尻労で114尾、関根浜で19尾、黒崎で1尾、牛滝で0尾であった（表1）。例年と同様に尻労で採集数が多く、次いで関根浜、黒崎、牛滝の順であった。

尻労では4月上旬～6月中旬にかけて採集された。4月下旬～5月下旬に多く採集され、6月上旬以降は採集数が少なかった。

関根浜では2月中旬～6月中旬に多く採集された。採集数に明確なピークはみられなかったものの、5月中旬～6月中旬に多い傾向があった。

表1. サクラマス幼魚の時期別再捕数（2014年）

採捕旬	採捕場所			
	尻労	関根浜	黒崎	牛滝
2月中旬	0	1	0	0
2月下旬	0	0	0	0
3月上旬	0	0	0	0
3月中旬	0	1	0	0
3月下旬	0	0	0	0
4月上旬	4	2	0	0
4月中旬	7	0	0	0
4月下旬	24	2	0	0
5月上旬	22	1	0	0
5月中旬	27	4	0	0
5月下旬	26	3	1	0
6月上旬	3	1	0	0
6月中旬	1	4	0	0
6月下旬	0	0	0	0
合計	114	19	1	0

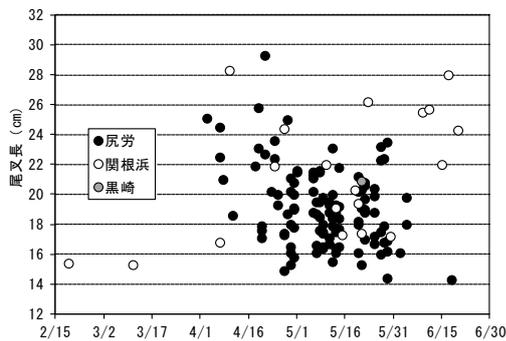


図2. サクラマス幼魚の採集時期と尾叉長の関係

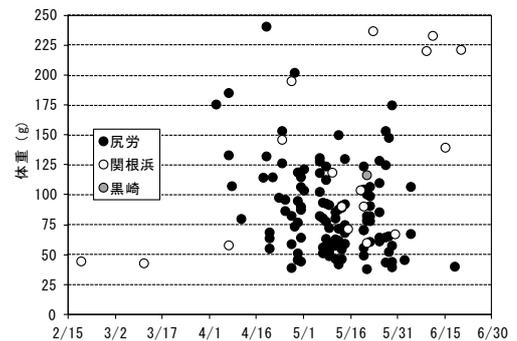


図3. サクラマス幼魚の採集時期と体重の関係

採集魚のサイズは、尻労で尾叉長 14.3 cm～29.3 cm、体重 38.2 g～241.0 g であった。関根浜では尾叉長 15.3 cm～28.3 cm、体重 43.1 g～237.2 g であった。黒崎では尾叉長 20.9 cm、体重 116.8 g であった。

表 2. サクラマス幼魚の標識魚採捕状況 (2014 年)

採集日	採集地点	標識	尾叉長 (cm)	体重 (g)
4月24日	尻労	脂鱭	23.6	153.7
4月29日	尻労	右胸鱭	16.5	51.4

尻労では時期が遅いほど採集魚が小型化する傾向がみられた。4月下旬以降、15cm以下の小型個体も採集された。関根浜では4月上旬以前に採集された幼魚は、尾叉長17cm以下であったが、4月下旬以降は17cm以上の個体が採集された。標識魚は、脂鱭標識と右胸鱭標識の個体が1個体ずつ、尻労で採集された。

採集数の多かった尻労でみると、4月下旬～5月下旬にまとまって採集され、また採集魚のサイズも様々であることから、体成長よりも海洋条件が幼魚の回遊に大きく影響していると推察される。今後は、水温データや食性等の条件を把握することで、最適な放流時期、放流サイズ等に関する知見が得られると考えられる。

謝 辞

調査にご協力いただいた新深浦町漁業協同組合岩崎支所の佐藤恭三様、佐井村漁業協同組合牛滝支所の大石支所長、関根浜漁業協同組合の高橋専務、尻労漁業協同組合の吉田漁業部に御礼申し上げます。